

給食だより 11月号

鏡西部小学校

秋が深まってきました。間もなく冬の足音も聞こえてきます。今月は23日に勤労感謝の日があります。農業、漁業、畜産業などにかかわっている人や配送をしたり食事をとったりする人たちなど、いろいろな人たちのおかげで、毎日食事をすることができま
す。こうした方たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

食べ物の命をいただいています！

わたしたちが食べている食べ物は、どれも生き物の命をいただいているものばかりです。

また、生産者や料理をつくってくれた人たちなど、さまざまな人びとの手を経ることで、毎日の食卓に並んでいます。食事を
する時には、感謝の気持ちを忘れないように
にしましょう。

そして、苦手の食べ物がある場合には一口でも挑戦して、できるだけ食べるように努力をしてみましょう。



給食にはこんな人たちが かかわっています!!

わたしたちが毎日食べている給食には、栄養士さんをはじめ、調理員さん、農家の人、畜産にたずさわる人、漁師さんや水産業にたずさわる人、食材を運んでくれる運搬業の人など、たくさん
の人の手がかかわっています。そして、わたしたちの元へと給食が届けられているのです。感謝の気持ちを持って給食をいただきましょう。



食事の
あいさつ

「いただきます」
「ごちそうさま」



食べ物を食べるということは、動植物の命をいただくことにもつながります。その食べ物をいただくことや、料理をしてくれた人に感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを忘れないようにしましょう。

地場産物を 食べよう！

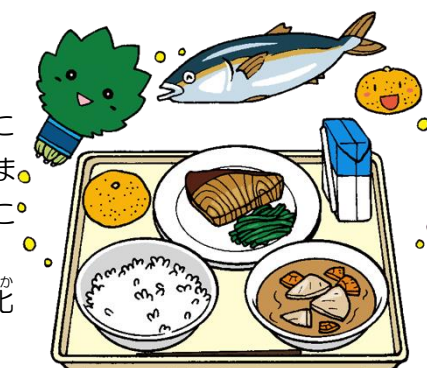
みなさんの地域では、どのような農作物がつくられていますか？ 自分の住む地域でつくられる地場産物を知り、生産者の
人の努力を身近に感じてみましょう。また、ぜひ各家庭の食卓にも積極的に取り入れてい
きましょう。



地場産物がおいしい給食に！

子どもたちが毎日楽しみにしている学校給食には、地域の生産者の方がたが丹精込めてつくったさまざまな地場産物をたくさん取り入れられています。こ
うした取り組みは全国ですめられています。

子どもたちは、学校給食を通して地域の食文化などについて理解を深めています。



おやつと上手につき合うための 3つのポイント



普段、どんなふうにおやつを食べていますか。3つのポイントに気をつけましょう。